

陳 情 書

【項目】

- 1 市職員らがセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）を受けた問題の真相を解明し，再発を防止するための調査を求めます。

【趣旨】

狛江市政と住民生活の向上に向けてのご尽力に敬意を表します。

私たちは、狛江市で活動する 9 団体で構成している社会保障推進協議会です。文字通り、狛江市民の社会保障を手厚くすることや、社会保障予算を増やすよう、学習したり、運動したり、市民に働きかけをしている団体です。今、国もそうですが、各地域自治体でもセクハラ問題が急増し、社会問題化しています。この間、狛江市議会でも市議がセクハラを受けた市職員のことを一般質問で具体的に取り上げています。セクハラを受けた側は、本当に傷つき、ストレスとなり、仕事にも悪影響を及ぼす、加害者側の大きな嫌がらせです。麻生財務大臣は、「セクハラ罪はない」などと、まるでこの問題を理解しようとしていない態度で、本来模範となるべき国家を運営すべき人物の発言とは思えない、信じがたいことを述べています。しかし、狛江市では、既に被害者から事実であることの確認が取れていることもあり、実際に加害者となっている市庁舎の人物の特定をして真相を解明し、再発を防ぐため、ぜひ、調査をお願いしたいと思っています。最近では、狛江市から来ましたと知り合いに話をすると、「セクハラの街でしょ？」と非常に肩身の狭い思いをしています。こうした問題を解決し、市職員も安心して仕事ができる環境を作り、狛江市民が他市に誇れるような町にするため、一刻も早い究明をお願いするとともに、加害者にも、財務省事務次官が辞任したように、相応の処罰をぜひお願いします。